

部 局 名	建設部
部 局 長 名	南川 秀一
部の運営方針	<p>○第四次総合計画の基本目標「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり（安全・安心）」では浸水対策の推進、「快適で住み続けたいなるまちづくり（都市基盤・公共交通）」では公共交通の利便性向上、安全で快適な道路の整備、下水道の整備と普及を進めていきます。令和 4 年度は次の事業に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none">・安全で快適に通行できる道路を維持するため、道路ストックの点検を実施し、橋梁や舗装の修繕を進めるとともに、排水施設や街路樹の適切な維持管理を行います。・街路灯の管理については、各自治会の L E D 灯への推奨の啓発を引き続き図ることで、より一層の L E D 化を進め、市内街路灯のさらなる L E D 化を進めるとともに、令和 3 年度までに L E D 化が完了した自治会が管理する街路灯については、管理移管を希望する場合は、市で管理を行っていきます。・生活道路の安全性や快適性を確保するため、歩道のバリアフリー化や、道路の拡幅・隅切の整備、道路排水施設の整備・改修を行います。・幹線道路網の整備では、下ヶ戸・中里線外 1 線の用地取得を引き続き進めると共に道路整備工事に着手します。・下新木踏切道の改良では、残りの用地取得を進めます。・安全で快適な自転車利用環境を創出するため、自転車活用推進計画を策定すると共に、自転車ネットワーク計画の検討を行います。・J R 東日本の我孫子駅構内のエレベーターや、我孫子駅と天王台駅の緩行線ホームのホームドアの工事に支援を行います。・あびバスが地域に根付いた公共交通となるよう取り組んでいきます。・地域公共交通協議会においては、地域公共交通計画の作成を進め、地域交通の活性化・維持確保を目指します。・老朽化が進む市管理の駅施設については、包括管理受託者が作成した修繕計画に基づき、長寿命化を図ります。・公共下水道事業は、令和 4 年度を初年度とする新たな経営戦略に基づき、地方公営企業として計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みます。・下水道ストックマネジメント事業は、ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の修繕・改築を行います。・下水道の整備は、久寺家 1・2 丁目地区我孫子第 6 - 1 号幹線の整備を進めるほか、引き続き、湖北駅北口地区及び下ヶ戸西側地区の整備を進め、下水道の普及に努めます。・下水道総合地震対策事業は、マンホールトイレや重要な幹線等のマンホール浮上防止の工事を実施します。・水害に強いまちづくりの一環として、床上浸水が発生している地区の整備を重点的に進めます。布佐排水区・柴崎排水区では雨水幹線の整備、若松地区ではバイパス管の整備を行います。また、市内の各地区では、地域特性や水害の発生状況に応じて、応急的な水害対策工事を行います。・既設のポンプ施設や排水施設等の定期的点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めます。

部 局 名	建設部
部 局 長 名	篠崎 啓一
部の運営方針 に対する総合 評価	<p>○第四次総合計画の基本目標「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり（安全・安心）」では浸水対策の推進、「快適で住み続けたいまちづくり（都市基盤・公共交通）」では公共交通の利便性向上、安全で快適な道路の整備、下水道の整備と普及を進めました。令和4年度は次の事業に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適に通行できる道路を維持するため、道路ストックの点検を実施し、橋梁や舗装の修繕を進めるとともに、排水施設や街路樹の適切な維持管理を行いました。 ・街路灯の管理については、各自治会のLED灯への推奨の啓発を引き続き行うことで、より一層のLED化を進め、市内街路灯のさらなるLED化を進めました。また、令和3年度までにLED化が完了した自治会が管理する街路灯について、自治会からの希望により4自治会について、市への管理移管を行いました。 ・生活道路の安全性や快適性を確保するため、歩道のバリアフリー化や、道路の拡幅・隅切の整備、道路排水施設の整備・改修を行いました。 ・幹線道路網の整備では、下ヶ戸・中里線外1線の道路整備工事に着手しました。 ・下新木踏切道の改良では、残りの用地取得に向けた協議を継続しました。 ・安全で快適な自転車利用環境を創出するため、自転車活用推進計画を策定に向けた検討を行いました。 ・JR東日本が施工する我孫子駅構内のエレベーター設置工事に支援を行いました。 ・あびバスが地域に根付いた公共交通となるよう取り組みました。 ・地域公共交通協議会においては、地域公共交通計画の作成を進め、地域交通の活性化・維持確保を目指しました。 ・老朽化が進む市管理の駅施設については、包括管理受託者が作成した修繕計画に基づき、長寿命化を図りました。 ・公共下水道事業は、令和4年度からの下水道使用料改定の効果などにより令和4年度における経費回収率の目標値を達成し、経営基盤強化の取り組みが進みました。 ・下水道ストックマネジメント事業では、ストックマネジメント計画に基づき、若松地区における老朽管の改築工事を行いました。 ・下水道の整備は、久寺家1・2丁目地区の我孫子第6-1号幹線、湖北駅北口地区および下ヶ戸西側地区の下水道管工事を行い、下水道の普及に努めました。 ・下水道施設の地震対策は、我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき、緊急輸送路、避難路等に埋設されているマンホールの浮上防止対策工事を行いました。 ・水害に強いまちづくりの一環として、床上浸水が発生している地区の整備を重点的に進めました。布佐排水区・柴崎排水区では雨水幹線の整備、若松地区ではバイパス管の整備を行いました。また、市内の各地区では、地域特性や水害の発生状況に応じて、応急的な水害対策工事を行いました。 ・既設のポンプ施設や排水施設等の定期的点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めました。

令和 4 年度
課の目標管理書

課 名：建設部 道路課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・道路機能を確保する維持管理の充実を図ります。
- ・安全で快適に通行できる道路整備を進めます。(道路拡幅、路面補修及び道路施設の更新工事)
- ・計画的な雨水排水施設の整備改修を進めます。
- ・誰もが安全で快適に通行できる歩行者空間の確保を図ります。(バリアフリー、歩道工事)
- ・交通事故のない安全な交通環境整備を進めます。(交通安全施設整備)
- ・災害に強い街づくりの一環として市内道路橋梁の長寿命化計画に基づき修繕を進めます。
- ・街路灯の保守点検強化、LED化の普及を進めます。
- ・公共測量に必要な公共基準点の世界測地系への変換業務については、令和3年度の事前調査に引き続き、1級基準点の変換作業を行います。
- ・JR東日本が行う市内各駅のホームドアの整備について支援を行っていきます。
- ・あびバスが地域に根付いた公共交通となるよう安全で快適な利用、運行を行い、速達性を維持しつつ地域の意見を反映した運行方法を検討していきます。
- ・地域公共交通協議会において、日本大学の協力を得つつ、地域公共交通計画の作成を進め、地域交通の活性化・維持確保を目指す。また、コロナウイルス蔓延化により利用者減少した公共交通の回復や利用者増に向けた活性化策を検討していきます。
- ・環境にやさしい自転車の活用を推進するため、自転車活用推進計画を策定し、自転車の走行環境の整備に努めます。
- ・老朽化が進む市管理の駅施設については、我孫子市駅施設長寿命化計画(個別施設計画)及び包括管理受託者が作成した修繕計画に基づき、修繕を行いながら長寿命化を図ります。
- ・幹線道路網の整備では、令和4年4月に供用開始する手賀沼公園久寺家線の整備区間中央部付近への押しボタン式信号機の設置等の関連工事を引き続き行います。また、下ヶ戸・中里線外1線の用地取得を引き続き進めます。
- ・下新木踏切の改良では、引き続き用地取得に向け、交渉を行っていきます。

2. 課の目標への取組結果

道路が安全で快適に通行できるよう、目標に沿った適正な維持管理や道路拡幅工事、歩行者空間の確保等を実施するとともに、街路灯の保守点検、LED化の普及を進め、環境にやさしい自転車の活用を推進するため、自転車活用推進計画の策定に向けた検討を行いました。

また、公共基準点のうち1級基準点について、世界測地系への変換作業を行いました。

公共交通のうち駅施設については、JR東日本が施工した我孫子駅構内エレベーター設置工事に支援を行うとともに、市管理の駅施設について、修繕計画に基づいた修繕を行いながら長寿命化を図りました。

また、地域公共交通協議会において、地域交通の活性化・維持確保を図るとともに、新型コロナウイルスの蔓延化により利用者の減少した公共交通の回復や利用者増に向けた活性化策を検討しました。

幹線道路網の整備では、令和4年4月に賀沼公園・久寺家線の供用を開始し、下ヶ戸・中里線外1線の整備工事に着手しました。

下新木踏切の改良では、用地取得に向けた協議を継続しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
<p>幹線道路網や生活道路、通学路などの整備を進めるとともに、道路の維持管理を図りました。</p> <p>また、正確な測量を適切に行えるよう、公共基準点の変換作業を行い、各自治会が管理する街路灯のLED化を推奨し、より一層のLED化を進めました。</p>	<p>道路の維持管理を図るとともに、計画的な雨水排水施設の整備改修を行い、安全で快適に通行できる道路整備を進めました。</p> <p>駅施設については、我孫子駅構内エレベーター設置工事に支援を行い、多くの市民の利便性が向上しました。</p>

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

道路課所管事業を確実に執行するためには、用地事務・土木工事・交通政策等の専門的な知識を有する職員の育成及び継続的な配置が不可欠であるとともに、草刈りや道路の緊急補修等に対応するための人員の増員が必要です。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路障害発生時（災害時）の規制・対策
	担当部署名	建設部 道路課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。
事務事業の目的・概要	緊急輸送道路を最優先に、災害による道路の被害状況を速やかに把握し、道路交通を確保するため、警察や国・県と連携して、通行制限や迂回路の選定など、道路交通の安全策を講じます。	
関連する市の計画等	我孫子市防災計画	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	道路障害発生時（災害時）の規制・対策	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	269	10,788	1.24	0	0.00	11,057	0	0	0	0	11,057
令和3年度	決算見込額	479	12,104	1.36	0	0.00	12,583	0	0	0	0	12,583
令和4年度	当初予算額	0	22,986	2.80	824	0.30	23,810	0	0	0	0	23,810
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	0	21,874	2.66	1,076	0.40	22,950	0	0	0	0	22,950

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	活動	災害時の道路管理瑕疵にかかる損害賠償請求処理率	%	目標値	100	100	100	100
	実績値			100				
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	災害発生時には、交通規制を実施し、二次災害の発生をさせることはありませんでした。
成果に対する評価	ほぼ順調	適正に対応できたと評価しています。
総合的な評価	ほぼ順調	災害発生時は交通規制を行うなど、適正に対応していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	災害発生時には、警察や国、県と連携し、二次災害の発生を防止すべく対応していく必要があると考えています。道路瑕疵に対する対応についても、事案発生後、速やかに対応していく予定です。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	交通安全施設整備
	担当部署名	建設部 道路課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-5 交通安全の推進
	施策の展開内容	交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めます。
事務事業の目的・概要	交通の安全を確保するため、警察や道路管理者と連携し、信号機やガードレールなどの交通安全施設の整備を図ります。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	交通安全施設整備	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	30,777	2,697	0.31	0	0.00	33,474	0	0	0	0	33,474
令和3年度	決算見込額	29,644	2,670	0.30	0	0.00	32,314	0	0	0	0	32,314
令和4年度	当初予算額	30,756	20,521	2.75	0	0.00	51,277	0	0	0	0	51,277
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	30,640	21,699	2.90	0	0.00	52,339	0	0	0	0	52,339

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	交通安全施設工事完了率	%	目標値		100	100	100	100
			実績値	100	100			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	交通の安全を確保するため、警察などの関係機関と連携し、カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設を設置しました。
成果に対する評価	順調	警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進められています。
総合的な評価	順調	交通事故のない安全な交通環境整備を進めています。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域公共交通維持確保と利便性向上	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-3 公共交通の利便性向上	
	施策の展開内容	誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めています。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通の維持確保と充実を図るため、民間事業者と協力し、観光事業などと連携した利用の促進に取り組みます。 民間施設の送迎バスなど地域の輸送資源を活用し、地域公共交通を補完していきます。 		
関連する市の計画等	我孫子市移動等円滑化基本構想、		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	事業者等の送迎バスの空席を活用した外出応援事業		
	我孫子市地域公共交通協議会運営（市民バスの運行）		
	指（仮称）シャトルバスの実証運行		
	新型コロナウイルス感染拡大及び燃料価格高騰に伴う公共交通事業者支援		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan & Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	73,698	12,267	1.41	0	0.00	85,965	0	0	0	0	85,965
令和3年度	決算見込額	82,609	12,015	1.35	0	0.00	94,624	0	0	0	0	94,624
令和4年度	当初予算額	81,276	5,495	0.70	0	0.00	86,771	0	0	0	0	86,771
	補正後予算額	83,543	5,495	1	0	0.00	89,038	0	0	0	0	89,038
	決算額	81,836	4,972	0.63	0	0.00	86,808	0	0	0	0	86,808

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	送迎バスパスカード申請件数	件		目標値	500	1500	500	1500
				実績値	2000	322		
活動指標	地域公共交通維持確保に向けた協議回数	回		目標値	4	4	4	4
				実績値	1	6		
成果指標	民間バス系統数（維持確保）	系統		目標値	9/34	9/34	9/34	9/34
				実績値	9/34	9/34		
成果指標	市内タクシー台数（維持確保）	台		目標値	82	82	82	82
				実績値	82	77		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができていると考えます。駅や各施設への重要な交通手段であるバス路線の再編など、公共交通事業者と連携して利便性の向上を図っています。
成果に対する評価	ほぼ順調	個人タクシーの2事業者が廃業となりましたが、年齢によるものです。市内の主要な事業者が厳しい経営状況の中での燃料価格高騰支援金の交付は、公共交通の維持が図られたと考えます。
総合的な評価	ほぼ順調	公共交通等による市民の移動の利便性を確保することは重要な施策であり、既存交通の発展や新たな交通手段や対策を検討し展開していく必要があります。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	新型コロナウイルス感染症の拡大による利用者減及び燃料の価格高騰の影響を受け、公共交通事業者を取り巻く環境は厳しいものとなっています。また、運転手の高齢化など担い手不足も経営に直面している緊急的な課題であり、地域公共交通を維持確保していくためには、行政の支援が必要不可欠となっています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	鉄道の輸送力と利便性向上/駅施設整備・維持・管理業務	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-3 公共交通の利便性向上	
	施策の展開内容	誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めています。	
事務事業の目的・概要	・JR東日本が行う、ホームエレベーターやホームドアなどの駅構内の施設の整備・改修及び駅の魅力を向上させるための新たな施設の整備について支援していきます。 ・駅利用者の安全性や快適性を保つため、市が整備したエレベーター・エスカレーターや自由通路の効果的な維持管理を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市駅施設長寿命化計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	駅施設維持管理事業		
	指 我孫子駅構内バリアフリー施設等の整備・支援		
	各駅エレベーター・エスカレーター等の整備		
	我孫子北口タクシー待機場所管理		
継続費設定事業	我孫子駅構内エレベーター整備工事負担金 R2~R5 560,000千円		
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	47,189	11,049	1.27	0	0.00	58,238	0	0	0	0	58,238
令和3年度	決算見込額	190,181	12,015	1.35	0	0.00	202,196	0	0	75,300	0	126,896
令和4年度	当初予算額	448,298	7,850	1.00	0	0.00	456,148	0	0	300,000	146	156,002
	補正後予算額	451,237	7,850	1.00	0	0.00	459,087	0	0	300,000	146	158,941
	決算額	166,280	7,327	0.93	0	0.00	173,607	0	0	124,700	135	48,772

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	公共交通事業者とのバリアフリーに関する協議回数	回		1	8	4	4	4
	活動 指標	タクシー待機場場使用料徴収率	%	100	-	100	100	100
成果 指標	バリアフリー対応駅数（駅構内外）	台		4	4	5	5	5
	成果 指標	UDタクシー導入台数	台	12	15	14	15	16
指標								
指標								

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	駅施設の管理修繕及び駅構内バリアフリー整備について、関係事業者と連携しながら業務を遂行しています。遅延している工事もなく、ほぼ順調に推移しています。
成果に対する評価	ほぼ順調	特に我孫子駅構内エレベーターは、第4ホームと第1ホームが使用開始となり、工事の延期もなく順調に推移しています。
総合的な評価	ほぼ順調	市内5か所の橋上化した駅は、多くの市民が利用する施設です。安全安心に利用できる施設として管理していく必要があります。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	市内5か所の橋上化駅は、新木駅を除き、老朽化が目立ってきています。駅施設長寿命化計画を作成し、安全管理には努めているものの、維持していくには高額の修繕費が必要となります。今後は、JR東日本や国・県と協議し駅施設の全面改修も視野に検討することも必要と考えます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路の整備・改良
	担当部署名	建設部 道路課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路については、将来交通量や費用対効果を踏まえ、計画的な整備を進めます。 狭あい道路や交通に課題のある路線については、円滑な道路通行を図るため、道路改良・整備を計画的に進めています。 通学路の安全確保のため、関係機関との点検で指摘があった路線については、早期の安全確保に努めます。 J R我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ、市のシンボルロードである「公園坂通り」は、通過交通の抑制を図り、歩行者にやさしい「歩きたくなるみち」として計画的に整備を進めます。 	
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン	
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	市道24-003号線等(妻字原地先)の改良	指 土谷津地区の道路整備
	道路用地の管理	指 新木駅北口地区の道路整備
	開発行為の指導・道路用地の寄付帰属	指 布佐小学校入口交差点改良事業
	指 手賀沼公園・久寺家線の整備	指 並木小学校通学路整備
	指 下新木踏切道の改良	指 公園坂通りの整備進捗率
	高野山新田交差点改良	
	市道21-039号線(高野山地先)道路整備	
	指 下ヶ戸・中里線外1線の整備	
中峠・古戸の道路整備		
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業	下ヶ戸・中里線等用地取得事業 H30~R5 668,415千円、下ヶ戸・中里線外1線関連道路拡幅用地取得事業 R1~R4 543千円 下新木踏切道用地取得事業 R4~R7 89,331千円、土谷津地区道路用地取得事業 R3~R4 15,279千円	

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	合計年度任用職員 (人)	人件費 (千円)	人件費 (千円)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	419,210	56,115	6.45	0	0.00	475,325	95,275	0	270,800	19,006	90,244
令和3年度	決算見込額	182,744	54,112	6.08	0	0.00	236,856	23,185	0	97,200	0	116,471
令和4年度	当初予算額	1,019,406	19,920	2.40	0	0.00	1,039,326	349,244	0	518,100	0	171,982
	補正後予算額	986,443	19,920	2.40	0	0.00	1,006,363	298,167	0	515,200	0	192,996
	決算額	824,583	21,098	2.55	0	0.00	845,681	289,153	0	402,900	0	153,628

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	手賀沼公園・久寺家線の整備進捗率	%	目標値	100	100	100		
			実績値	95	99			
活動指標	土谷津地区の道路整備進捗率	%	目標値	30	70	99	100	
			実績値	30	70			
活動指標	布佐小学校入口交差点改良事業進捗率	%	目標値	25	75	95	100	
			実績値	25	30			
活動指標	並木小学校通学路整備進捗率	%	目標値	0	10	40	100	
			実績値	0	10			
活動指標	公園坂通りの整備進捗率	%	目標値	0	2	4	4	8
			実績値	0	2			
活動指標	認定路線等の告示率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			
成果指標	下ヶ戸・中里線外1線の整備事業における契約権利者数(残21人)	人	目標値	5	5	16		
			実績値	0	0			
成果指標	下新木踏切道の改良事業における契約権利者数(残2人)	人	目標値	2	1		1	
			実績値	0	0			

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考(評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	安全で快適な道路を整備するために必要な協議や測量、工事を実施しました。
成果に対する評価	ほぼ順調	手賀沼公園・久寺家線が全線で開通するとともに、土谷津の第一工区の工事も完了しました。児童・生徒の安全確保に向けて、通学路の整備事業を早期に進める必要があります。
総合的な評価	ほぼ順調	市が管理すべき道路を適切に認定するとともに、安全で快適な道路の整備を進めました。通学路についても、早期の安全確保のため、協議や測量・設計業務を行いました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	快適な道路の整備は市民の安全安心な通行に必要な不可欠なものであることから、現状通り推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	移動しやすい歩道の整備
	担当部署名	建設部 道路課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。
事務事業の目的・概要	障害者や高齢者、ベビーカー・車椅子利用者など、誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、歩道整備やバリアフリー改修を進めます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	バリアフリー歩道改良	
	我孫子隧道の歩道改修	
	白山跨線人道橋延伸整備及び信号機の設置	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	4,709	2,349	0.27	0	0.00	7,058	0	0	0	0	7,058
令和3年度	決算見込額	4,990	2,047	0.23	0	0.00	7,037	0	0	0	0	7,037
令和4年度	当初予算額	0	21,666	2.85	0	0.00	21,666	0	0	0	0	21,666
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	0	22,844	3.00	0	0.00	22,844	0	0	0	0	22,844

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	業務完了率	%		100	100	100	100	100	
				100	100				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、歩道へ点字ブロックの設置、我孫子隧道の歩道改修や白山跨線人道橋の改修工事を行いました。
成果に対する評価	順調	誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、バリアフリー整備や歩道改修等を進めています。
総合的な評価	順調	誰もが円滑で快適に移動ができる道路ネットワークの充実を図っています。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者や高齢者、ベビーカー・車椅子利用者など、誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、歩道整備やバリアフリー改修を進めています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路空間の魅力化
	担当部署名	建設部 道路課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある道路空間にするため、歩行者や車両の安全を確保しながら街路樹を守り育てるとともに、市民による道路環境美化活動の支援を行います。 市民や訪れる人に、道路への親しみやまちへの愛着を深めてもらえるよう、道路愛称の普及・定着を図ります。 	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	道路愛称の定着化	
	道路環境美化の活動支援（アダプトプログラム）	
	街路樹の維持管理事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	46,539	3,828	0.44	0	0.00	50,367	0	0	0	0	50,367
令和3年度	決算見込額	46,038	4,717	0.53	0	0.00	50,755	0	0	0	0	50,755
令和4年度	当初予算額	44,010	22,645	3.00	989	0.30	67,644	0	0	0	0	67,644
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	43,977	22,645	3.00	989	0.30	67,611	0	0	0	0	67,611

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	活動 指標	A-Rap登録団体数	団体	目標値	20	22	24	
				実績値	20	21		
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	我孫子市道の高木及び低木について、剪定を行うとともに、A-Rap登録団体に対して、消耗品を支給しました。また、ホームページにて、A-Rap参加に対するお知らせを継続して掲載しています。
成果に対する評価	ほぼ順調	街路樹剪定及び消耗品支給は順調に行うことができました。A-Rap登録団体数についても、1団体追加加入して頂くことができました。
総合的な評価	ほぼ順調	市が実施すべき事業は、順調に行うことができます。目標に掲げているA-Rap登録団体数増加に対する取り組みを推進していきたいと考えています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	街路樹の維持管理は、道路の適正管理を行う上で必須項目です。また、消耗品の支給についても、加入団体を支援する意味で今後も継続すべきものと考えています。引き続き、事業を継続するとともに、加入団体増加に向けた取り組みを行っていききたいと考えています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路環境の維持
	担当部署名	建設部 道路課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。
事務事業の目的・概要	道路情報の管理や情報提供を行うとともに、良好な道路環境を確保するため、事業者に適切な許可や確認を行います。	
関連する市の計画等	自転車駐車場長寿命化計画、橋梁長寿命化計画、舗装の個別施設計画	
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	市道の認定、廃止及び用途廃止	道路環境の維持(経常的経費)
	放置車両の処理	道路の維持管理作業(土木センター)
	法定外公共物管理	道路管理瑕疵の処理(総務)
	街路灯の新設及び維持管理	街路灯補助金の交付
	道路に関する相談への対応	車両制限の許可
	道路の維持補修	道路占用申請等の許可・承認事務
	道路バトロール	自転車等駐車対策事業
	道路台帳の修正	指 橋梁長寿命化修繕事業
	道路境界の査定	道路の放射能対策
	道路情報の提供(台帳、確定図の閲覧)	指 公共基準点の座標変換
継続費設定事業	白山跨線人道橋修繕工事負担金 R2~R4 182,254千円	
債務負担行為設定事業	LED街路灯賃借 H28~R7 299,754千円	

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	570,765	127,281	14.63	0	0.00	698,046	6,490	0	68,663	146,900	475,993
令和3年度	決算見込額	838,663	127,804	14.36	0	0.00	966,467	60,866	0	111,072	146,374	648,155
令和4年度	当初予算額	771,239	74,427	9.50	4,776	1.80	850,442	103,391	0	149,800	79,863	517,388
	補正後予算額	770,354	74,427	9.50	4,776	1.80	849,557	99,519	0	145,200	77,750	527,088
	決算額	730,445	63,241	8.08	6,544	2.50	800,230	99,519	0	123,300	76,929	500,482

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	放置自転車警告件数	件		目標値	1500	1800	1750	1700	1550
				実績値	1500	1649			
活動 指標	年間で予定している 橋梁修繕・点検事業業務の進捗率	%		目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100			
活動 指標	年間で予定している道路の 維持補修工事の進捗率	%		目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100			
成果 指標	自転車駐車場利用件数	件		目標値	8,036	8,200	8,300	8,400	8,600
				実績値	8,036	7,818			
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考(評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	道路が安全で快適に通行できるよう、維持管理を行うとともに、維持管理に必要な道路境界の査定や台帳管理を行いました。また、自転車駐車場施設についても適正に維持管理を行いました。
成果に対する評価	ほぼ順調	予定していた修繕や維持補修工事を行いました。また、自転車駐車場利用件数についても、在宅ワークが推進されたこと等の影響もあり、目標値には届きませんでしたが、適正に管理しました。
総合的な評価	ほぼ順調	道路が安全で快適に通行できるよう、必要な事務手続きや維持管理を行いました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	道路や橋梁、自転車駐車場の適正な維持管理は市民の安全に直結する重要な事業であることから、現状通り推進します。

令和 4 年度
課の目標管理書

課 名：建設部 下水道課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・令和 4 年度を初年度とする新たな経営戦略に基づき、計画的かつ合理的な経営を行い、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みます。

・下水道ストックマネジメント事業では、我孫子市公共下水道ストックマネジメント計画における実施方針に基づき、予防保全型の維持管理・改築・修繕を進めていきます。

・下水道の整備は、引き続き久寺家 1・2 丁目地区の我孫子第 6 - 1 幹線の整備を進めるほか、湖北駅北口地区及び下ヶ戸西側地区の整備を進め、普及に努めます。

・下水道施設の地震対策は、我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき、緊急輸送路、避難路等に埋設されているマンホールの浮上防止対策工事を進めます。

2. 課の目標への取組結果

関係機関との協議に不測の時間を要したことにより久寺家 1・2 丁目地区における我孫子第 6 - 1 号幹線整備工事については令和 5 年度に繰り越して実施することとなりましたが、そのほかの取組は、課の目標で示した方針に基づき、予定通り実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
<p>経営面では、下水道使用料改定の効果などにより、経費回収率は令和 4 年度の目標値を達成し、経営基盤の強化を図ることができました。</p> <p>下水道ストックマネジメント事業では、ストックマネジメント計画に基づく改築工事をを行い、老朽管の更新が着実に進捗しました。</p> <p>下水道未普及地区における公共下水道の整備では、一部繰り越したとなった事業もあったものの、下水道整備 5 カ年計画に基づき、概ね順調に整備が進んでいます。</p> <p>下水道施設の地震対策では、予定箇所の実施時期変更などはあったものの、我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき、概ね順調に事業が進んでいます。</p>	<p>地方公営企業として、経済性や効率性を発揮するべく、経営戦略に基づき、計画的かつ合理的な経営を行い、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組んでいます。</p> <p>また、都市基盤整備事業として、快適な生活環境を保持し、河川や沼の水質を改善するべく、公共下水道の整備を進め、下水道普及の向上に努めました。</p> <p>一部、予定事業に繰り越しとなるものがあつたものの、各種計画に基づき概ね順調に整備を進めることが出来ています。</p>

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

下水道事業を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、将来にわたり安定的に下水道事業を継続し、衛生的で快適な生活環境を確保していくため、引き続き、経営戦略に基づき計画的・合理的な経営を行うとともに、毎年度進捗管理を行い、使用料水準の適正化も含め、定期的な計画の見直しを図る必要があります。

また、下水道の新規整備・普及促進を図る一方で、今後は老朽化した施設の維持管理を長期的な視点で計画的かつ効率的に実施していく必要があり、ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築工事を的確に推進していくには、財源を確保するとともに管渠やポンプ施設等の管理に必要な技術力を蓄積・継承していくことが求められます。

こうした諸課題に対応するためにも、経営と技術の両面から下水道事業運営を支える人材の育成を体系的に実践することや、適切な人員配置と持続可能な組織体制の構築を図る必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道事業の健全経営
	担当部署名	建設部 下水道課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-6 下水道の整備と普及
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。
事務事業の目的・概要	下水道事業を安定的に経営していくため、自らの経営を的確に把握し、健全経営に努めます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	下水道ストックマネジメント事業	
	下水道使用料及び下水道事業受益者負担金の賦課徴収業務	
	下水道排水設備指定工事店申請業務	
	健全経営を優先した下水道計画の確立	
	予算・決算業務による経営分析	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	合計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	180,706	49,155	5.65	4,118	1.70	233,979	18,260	0	0	174,607	41,112
令和3年度	決算見込額	241,916	52,510	5.90	3,828	1.50	298,254	28,780	0	48,200	173,985	47,289
令和4年度	当初予算額	169,145	52,075	5.90	1,291	0.40	222,511	14,489	0	0	172,166	35,856
	補正後予算額	157,954	52,075	5.90	1,291	0.40	211,320	6,142	0	0	172,276	32,902
	決算額	218,504	52,075	5.90	1,779	0.80	272,358	28,042	0	32,900	167,510	43,906

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

指標	種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	活動指標	下水道使用料未納率	%		目標値	0.5	0.5	0.5	0.4
					実績値		0.4		
活動指標	活動指標	下水道事業受益者負担金未納率	%		目標値	0.97	0.96	0.95	0.93
					実績値		4.48		
成果指標	成果指標	経費回収率	%		目標値	86.2	92.8	92.8	100
					実績値		82.5		93.0
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調とはいえない	下水道使用料の未納率は目標を達成しましたが、下水道事業受益者負担金未納率は未達成となりました。滞納となっている受益者に対しては継続的に催告を行い早期回収に努めていきます。
成果に対する評価	順調	使用料改定や経費節減の取り組みにより、経費回収率は目標を達成することができました。引き続き、接続率の向上や事業手法の見直しなどに取り組んでいきます。
総合的な評価	ほぼ順調	未達成となってしまった指標はあったものの、概ね順調に経営することができています。定期的に経営状況を分析し、経営改善に取り組みます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	下水道事業を安定的に経営していくため、引き続き徴収率の向上に努めるとともに、計画的かつ合理的な経営を行い、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みます。 また、管渠施設の老朽化が進んでいることから、ストックマネジメント計画に基づき、長期的な視点で計画的かつ効率的に点検・調査・修繕・改築を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道施設の維持管理	
	担当部署名	建設部 下水道課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-6 下水道の整備と普及	
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。	
事務事業の目的・概要	老朽化施設の改築・修繕や雨水の浸入対策など、計画的かつ効率的に維持管理を進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	汚水管渠維持管理事業		
	汚水中継ポンプ場維持管理		
	総合地震対策事業（第Ⅲ期）		
	排水設備の審査及び竣工検査		
	流域関連公共下水道不排水対策事業（第1期）		
	久寺家汚水中継ポンプ場の圧送管閉塞事業		
	久寺家1・2丁目地区不排水対策事業（No5流域）		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	人件	非常勤職員 (人)	人件		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	104,731	23,055	2.65	0	0.00	127,786	9,000	0	10,400	75,218	33,168
令和3年度	決算見込額	131,818	24,475	2.75	1,276	0.50	157,569	19,800	0	27,400	70,871	39,498
令和4年度	当初予算額	143,076	24,288	2.75	1,291	0.40	168,654	9,555	0	12,300	75,082	71,717
	補正後予算額	124,998	24,288	2.75	1,291	0.40	150,577	7,640	0	13,600	71,083	58,254
	決算額	110,620	24,288	2.75	1,291	0.40	136,199	7,640	0	12,000	69,565	46,994

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

指標	種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	活動指標	マンホール浮上防止設置箇所（第Ⅲ期）	件		目標値	23	27		
					実績値	23	26		
活動指標	活動指標	マンホールトイレ設置箇所（第Ⅲ期）	件		目標値	16	0	8	
					実績値	16	0		
成果指標	成果指標	総合地震対策事業進捗率	%		目標値	80	82	94	
					実績値	80	82		
成果指標	成果指標	不排水対策事業進捗率	%		目標値	38	59	79	100
					実績値	38	59		
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき、マンホール浮上防止対策及び避難所にマンホールトイレの整備を行っています。また、手賀沼流域関連公共下水道の不排水対策5ヵ年計画に基づき、大雨時の汚水溢水等に対し、適正な対策を行い、管路、マンホール、宅内設備等の下水道施設の機能を保持できるよう努めています。
成果に対する評価	ほぼ順調	県道部でマンホール浮上防止対策を予定していた箇所が掘削抑制期間中のため、次期計画（第Ⅳ期）へ見送りとなり未達成となりました。今後は、計画通りに事業が進むよう道路管理者との協議を密に行います。
総合的な評価	ほぼ順調	未達成となった指標はあったものの、概ね順調に事業が進んでいます。引き続き、地震対策及び不排水対策に計画的に取り組みます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	総合地震対策事業では、大規模な地震に備え、災害が発生しても下水道施設の機能が維持できるように引き続き事業を実施していきます。また、不排水対策事業では、千葉県流域関連市町で協調して公共下水道の不排水対策に取り組んでおり引き続き対策事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道管路の整備	
	担当部署名	建設部 下水道課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-6 下水道の整備と普及	
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。	
事務事業の目的・概要	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	指	下ヶ戸西側地区の整備	
	指	下ヶ戸北側地区の整備	
	指	久寺家1・2丁目地区の整備	
	指	湖北駅北口西側地区の整備	
	指	湖北駅北口東側地区の整備	
		青山地区の流域下水道への接続事業	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	160,024	28,275	3.25	727	0.30	189,026	44,472	0	91,600	23,617	29,337
令和3年度	決算見込額	279,821	29,815	3.35	0	0.00	309,636	98,000	0	161,600	23,559	26,477
令和4年度	当初予算額	334,907	28,638	3.35	0	0.00	363,545	117,095	0	204,400	21,222	20,828
	補正後予算額	289,179	28,638	3.35	0	0.00	317,817	105,390	0	170,300	21,122	21,005
	決算額	204,130	28,638	3.35	0	0.00	232,768	74,990	0	118,100	21,103	18,575

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度			
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
活動 指標	公共下水道管布設延長	m		1,118	579	1,127	795	767	1,565	1,182	
成果 指標	公共下水道管布設総延長	m		330,728	330,189	331,855	330,984	332,622	334,187	335,369	
指標				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	下水道整備5カ年計画に基づき、下水道未普及地区における下ヶ戸西側地区、湖北駅北口地区及び久寺家地区で公共下水道の整備を行っています。
成果に対する評価	ほぼ順調	久寺家1・2丁目地区の整備において、関係機関との協議に不測の時間を要し繰越となり、未達成となりました。今後は、早期の完成を目指し工事を進めていきます。
総合的な評価	ほぼ順調	久寺家1・2丁目地区以外の整備は、概ね計画通りに整備を行うことができています。引き続き、下水道未普及地区の整備を計画的に進めていきます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	手賀沼等の公共用水域の水質改善を図る上で、必要不可欠な事業であるため引き続き推進していきます。

令和4年度 課の目標管理書

課名：建設部 治水課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○前期基本計画1-2 浸水対策の推進のうち、排水区の整備を実現するため、布佐排水区の整備、柴崎排水区の整備では、雨水幹線の整備を行います。また、若松第1～第5排水区の整備では、バイパス管の整備を行います。また、市内各地区で水害の発生状況に応じて、緊急的な水害対策工事を行います。

○前期基本計画1-2 浸水対策の推進のうち、排水施設の維持管理を実現するために、既設のポンプ施設や排水施設の定期点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めます。

2. 課の目標への取組結果

○前期基本計画1-2 浸水対策の推進のうち、排水区の整備を実現するため、布佐排水区の整備、柴崎排水区の整備では、雨水幹線の整備を行いました。また、若松第1～第5排水区の整備では、バイパス管の整備を行いました。すべての事業において繰越すこととなり、令和5年度に実施することになりました。また、市内各地区で水害の発生状況に応じて、緊急的な水害対策工事を行いました。また、事業の一部において繰越しとなり、令和5年度に実施することになりました。

○前期基本計画1-2 浸水対策の推進のうち、排水施設の維持管理を実現するために、既設のポンプ施設や排水施設の定期点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努め、すべての事業を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
部及び課の目標を達成するために、事業を行いました。排水区の整備では、それぞれの課題により遅延していますが、浸水被害を軽減するために着実に事業を推進していきます。排水施設の維持管理では、計画的に適切な維持管理に努めていきます。	部の目標を達成するため、着実に事業を推進していることで、事業の効果が発現され、大雨による被害が軽減していることを実感できています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

浸水対策事業は多額の事業費と期間を要します。さらには、高度な工事方法となることから市民の協力が不可欠であり、市民に十分な説明を行いながら、財源及び技術職員の確保に努め、計画的に行っていく必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	河川防災の強化に向けた取組み	
	担当部署名	建設部 治水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進	
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 河川の氾濫を防ぐため、利根川や手賀沼の更なる堤防強化を国・県に働きかけていきます。 台風などにより手賀川と手賀沼の水位上昇が予想される際には、事前放流を引き続き実施するよう国に要請していきます。 		
関連する市の計画等	我孫子市水防計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	河川防災要望活動		
	河川合同巡視		
	洪水時の水防活動		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	320	3,045	0.35	0	0.00	3,365	0	0	0	0	3,365
令和3年度	決算見込額	156	3,026	0.34	0	0.00	3,182	0	0	0	0	3,182
令和4年度	当初予算額	265	4,220	0.40	0	0.00	4,485	0	0	0	0	4,485
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	243	4,220	0.40	0	0.00	4,463	0	0	0	0	4,463

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	堤防強化の要望件数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値		3			
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	手賀沼の湖岸堤及び田中調節池の周囲堤について要望活動を行いました。国や千葉県と河川の合同巡視や水防演習も行いました。
成果に対する評価	順調	今後も引き続き要望活動を行うとともに、国や千葉県と合同巡視や水防演習を行っていきます。
総合的な評価	ほぼ順調	河川防災は、市のみでなく国や千葉県などと連携して行っています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	河川氾濫を防ぐ堤防強化を国や千葉県に働きかけるとともに、手賀沼・手賀川の水位上昇が予想される際には、事前放流を引き続き実施するよう国等に要請していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	排水区の整備
	担当部署名	建設部 治水課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-2 浸水対策の推進
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。
事務事業の目的・概要	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的な雨水排水施設の整備を進めます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	指 柴崎排水区の整備(柴崎幹線整備事業)	
	指 布佐排水区の整備	
	指 若松第1～第5排水区の整備	
	緊急浸水対策	
継続費設定事業	布佐排水区の整備(雨水幹線整備工事5工区分) R4～R5 290,000千円	
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	341,116	44,022	5.06	0	0.00	385,138	59,550		216,900	0	108,688
令和3年度	決算見込額	690,923	34,532	3.88	0	0.00	725,455	221,500	0	418,000	0	85,955
令和4年度	当初予算額	945,477	35,130	4.20	1,439	0.60	982,046	308,200	0	566,300	6,000	101,546
	補正後予算額	1,120,539	35,130	4.20	1,439	1	1,157,108	369,450	0	660,100	10,000	117,558
	決算額	564,049	35,130	4.20	1,439	0.60	600,618	199,419	0	309,700	10,000	81,499

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	柴崎排水区の整備率 (総延長 約2000m)	%	目標値	7.7	10.9	16.3	20.9	24.6
			実績値					
活動 指標	布佐排水区の整備率 (総延長 約2000m)	%	目標値	6.6	13.5	22.7	29.4	40.1
			実績値		6.6			
活動 指標	若松第1～第5排水区の整備率 (総延長 約1280m)	%	目標値	82.7	100			
			実績値		85.3			
指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考(評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	柴崎排水区の雨水幹線整備工事は予定どおり完了しましたが、布佐排水区の雨水幹線整備工事及び若松地区のバイパス管整備工事は、不測の事態により工程に遅れが生じました。
成果に対する評価	ほぼ順調	各工事は支障物や埋設物への対応、そして近隣住民の協議などで工程に遅れが生じていますが、浸水対策工事が進捗しているため、浸水被害が軽減してきています。
総合的な評価	ほぼ順調	工事工程の遅れについては、工程を見直すとともに、安全に工事を進捗させるために、丁寧に準備、説明を行っています。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	床上浸水が発生している地区の整備を重点的に進める必要があります。建設工事の週休2日制や資材価格の高騰などの社会情勢の変化もありますが、交付金を活用しながら無理のない工程で安全に工事を進捗していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	排水施設の維持管理
	担当部署名	建設部 治水課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-2 浸水対策の推進
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。
事務事業の目的・概要	既存の雨水排水施設の機能を確保するため、適切に維持管理していきます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	排水施設維持管理	
	排水施設維持補修	
	つくし野川の維持管理	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	193,019	36,975	4.25	0	0.00	229,994	1,540	0	68,500	2,290	157,664
令和3年度	決算見込額	157,497	45,301	5.09	0	0.00	202,798	0	0	17,600	10,769	174,429
令和4年度	当初予算額	149,400	39,055	4.70	360	0.15	188,815	0	0	10,000	2,260	176,555
	補正後予算額	167,076	39,055	4.70	360	0.15	206,491	0	0	24,000	5,819	176,672
	決算額	153,839	39,055	4.70	360	0.15	193,254	0	0	16,900	4,654	171,700

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	排水施設 (22箇所) 点検回数	回		192	192	192	192	192
					192			
活動 指標	金谷排水機場長寿命化進捗率	%				15	23	33
指標				目標値				
				実績値				
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	予定通り排水施設の維持管理を行いました。
成果に対する評価	順調	維持管理する施設が多いため一定の苦情・要望がありますが、限られた予算と人員で維持管理を行い、機能を確保できました。
総合的な評価	順調	施設機能が原因による被害などがないように施設の維持管理は行っていますが、施設が全体的に老朽化していることや燃料費の高騰などから、業務量や維持管理費用が増大しています。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	施設は増え続け老朽化してきていることから、施設の維持管理及び点検の範囲を広げていくとともに、計画的に施設の長寿命化を行っていく必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民・事業者による雨水流出抑制の推進		
	担当部署名	建設部 治水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-2 浸水対策の推進		
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。		
事務事業の目的・概要	雨水流出を抑制するため、開発事業者や建築事業者に対し調整池や浸透ます等の雨水流出抑制施設の設置指導を行うとともに、住宅への雨水貯留タンクの設置を推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	雨水貯留タンクの設置補助			
	開発等への雨水流出抑制指導			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	320	7,656	0.88	0	0.00	7,976	0	0	0	0	7,976
令和3年度	決算見込額	400	8,366	0.94	0	0.00	8,766	0	0	0	0	8,766
令和4年度	当初予算額	400	6,575	0.70	0	0.00	6,975	0	0	0	0	6,975
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	329	6,575	0.70	0	0.00	6,904	0	0	0	0	6,904

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標	活動 指標	雨水タンク設置による雨水抑制量	m	目標値	2	2	2	2	
				実績値		2			
	指標				目標値				
					実績値				
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			
						目標値			
						実績値			

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	開発事業者や建築事業者に対して雨水流出抑制の指導を行い、さらに小規模な住宅へ雨水貯留タンクの設置を推進しました。
成果に対する評価	順調	雨水タンク設置により、一定の雨水抑制量を確保でき、浸水被害が軽減しています。
総合的な評価	順調	大規模な開発行為や建築行為により多くの雨水の抑制がされるため、引き続き指導していきます。さらに、小規模な住宅を対象とした雨水貯留タンクの設置も推進していきます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	雨水幹線の整備が完了するまでの間は、一時的に雨水を貯留する施設が必要になります。また近年、降雨量が増えていることから、河川への負担を軽減するためにも雨水を一時的に抑制する施設が必要になっていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	河川愛護事業
	担当部署名	建設部 治水課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。
事務事業の目的・概要	貴重な水と緑の空間である利根川が、地域の共有財産という理解を深めるとともに、豊かな自然環境の保全を図るため、ゴミの不法投棄の監視や市民などの協力を得て利根川堤防敷の清掃を実施します。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	河川愛護事業 (利根川河川清掃)	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	嘱託 (人)	会計年度任用職員 (人)	パート (人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	0	2,523	0.29	0	0.00	2,523	0	0	0	0	2,523
令和3年度	決算見込額	0	2,759	0.31	0	0.00	2,759	0	0	0	0	2,759
令和4年度	当初予算額	26	2,257	0.26	0	0.00	2,283	0	0	0	0	2,283
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	18	2,257	0.26	0	0.00	2,275	0	0	0	0	2,275

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
成果 指標	河川清掃参加人数	人	目標値	120	120	120	120	120
				実績値	82			
			目標値					
						実績値		
			目標値					
						実績値		
			目標値					
						実績値		
			目標値					
						実績値		

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を懸念されましたが、対策を講じて実施することができました。
成果に対する評価	ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症拡大以降、大人数でのイベントに抵抗もあり、目標人数の参加はありませんでしたが、理解を深めることができました。
総合的な評価	ほぼ順調	目標人数の参加はありませんでしたが、利根川が共有財産である理解を市民に深めるためにも毎年実施していきます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	利根川が共有財産である理解を市民に深めるためにも毎年実施していきます。